

防災講話・学校安全外部指導者派遣事業 「避難所ゲーム（HUG）」

平成30年11月6日（火）、秋田県総務部総合防災課の伊藤満氏と藤原尚也氏を講師としてお招きし、防災に関する講座を開きました。

災害時の避難所運営のあり方をゲーム形式で学ぶ防災講座をとおして、様々な事情を持つ避難者や避難所で起こる出来事への対応について考えました。取り組んだのは、「避難所ゲームHUG」。避難者の情報が書かれたカードを図面上に配置して避難所運営を模擬体験するもので、大地震の発生に伴い、高齢者や幼児、新婦、障害者らが避難所の同校体育館に詰め寄せるとの想定で行われました。



避難所ゲーム「HUG」の説明



「HUG」とは避難所運営ゲームのこと



グループに分かれて討議



「そのとき、どうする？」

学年別に4～9人のグループに分かれ、避難所に見立てた平面図に受付と通路を設置してゲームがスタートしました。避難所の家族構成や年齢、家屋の状況などが書かれたカードが読み上げられると「お年寄りや通路や出入り口の近くがいい」「小さい子どもがいる家族をまとめてみよう」などと意見を出し合いながら配置していました。



グループで作ったシートをもとに、グループごとに発表